



安全・安心な地域づくりへ、ヤマト運輸関係者と町関係者

ヤマト運輸(株)との包括連携協定締結

ヤマト運輸株式会社と四万十町の間で包括的連携協定の締結式が、2月3日に町役場で行われました。この協定は、それぞれが有する人的・物的資源を有効に活用し、地域活性化と町民サービスの向上に向けた取り組みを推進していこうとするものです。

連携項目は、「安全・安心な地域づくり」「災害対策」「移住促進・観光支援」「その他、四万十町の活性化や魅力発信」に関する4項目となっています。今後、地域の高齢者の見守りなど具体的な協議を進めていきます。



教わったとおりに優しく水やりをする児童たち

人権の花を育て、学ぶ命と優しさ

「人権の花運動」は、子どもたちが協力して花を育てることで命の尊さを実感し、その中で豊かな心を育み、優しさや思いやりのある心を体感していくことを目的に毎年実施しています。

本年度も、窪川高校生が種から育てたパンジーの花を1月下旬から2月上旬にかけて町内10か所の小学校に配布し、花のお世話を児童に引き継ぎました。配布の際には、同行した人権擁護委員の方から人権についての話があり、児童たちは花のお世話を通じて命の大切さを感じながら、人権について少しずつ学びました。

令和7年度「税に関する作品」の 入賞作品紹介

将来を担う児童・生徒の皆さんに税金への理解・関心を深めてもらうため、須崎税務署管内租税教育推進協議会では「税に関する作品」の募集を毎年行っています。町内の小中学校の皆さんの入賞作品をご紹介します。

<p>七里小学校6年 横山 葵</p> <p>青色 申告</p>	<p>窪川小学校2年 岡崎 くるみ</p> <p>ぜい さい</p>	<p>窪川小学校2年 萩原 杏心</p> <p>ぜい さい</p> <p>最優秀賞</p>
<p>窪川小学校4年 五十嵐 亜紗</p> <p>完納</p>	<p>仁井田小学校2年 松岡 源三</p> <p>ぜい さい</p>	<p>七里小学校2年 横山 颯記</p> <p>ぜい さい</p> <p>金賞</p>

税について

租推協会会長賞

私は税金についてよく知りませんでした。ですが税金について学んで、必要性や意味が分かりました。私たちの身の回りには、国や県、市町村による多くの公共施設が存在し、年金、医療など他にもさまざまなところで暮らしたに欠かせないものだと知りました。また税金の意味は租税として納める金銭のことでした。

四万十町立十和中学校 三年 林 里林

そして、税金の使いみちは国民の代表者である議員が国会で決めていました。その税金には納め方があり、直接税と間接税というものがあります。また、日本には五十種類もあると知りました。私はこんなに税の種類があると知っておどろきました。税金の納め方である直接税と間接税に分かれた税がありました。私には少し難しいと感じました。税について学ぶ中で、四万十町人口動態について詳しく学びました。現在の人口は一万四千七百五人でした。他の県などの人口にくらべると少ないです。また一週間の出生が約0.8人とひじょうに少ないと思います。逆に一週間の死亡者は約7.3人と多いです。このことから、昔にくらべて現在の四万十町の人口、高知県の人口が減少していることが分かります。県の人口が少ないと、税収の減少やサービス、地域経済の縮小など様々なデメリットが発生すると分かりました。このような少子高齢化がすすみ、負担が続いて

しまうのは危険だと思えます。税金は私たちが暮らしていくためにはとても重要で必要なものです。国民の健康で豊かな生活を現するためやさまざまな活動の財源となります。私たちは一人で生活していくわけではなく、税は生活していくためのものです。税がなくなると生活にえいさよすがでできます。町のふんいきが悪くなったり道路がしつかり整備されなかつたりと困る面があります。様々な税の意味やしくみをまなんでよかったです。

親も自分の知らない場面で税金をはらっていることも分かりました。身近な所で目にするので、これからは税という言葉が増えていくのではないかなと思いました。

少しでも税のことについて知ることができて良かったです。これからも学んだことを忘れず、生かしていきたいです。親とも話してみても、改めて税金の良さなどが分かりました。最初は取られるお金というイメージがあつたけどみんなで出さう、みんなで使う支え合いのお金だと気づくことができました。だから私はしっかりと税金を納め、社会に貢献したいと思えます。

税金と私たちの暮らし

法人会会長賞

私たちが毎日通っている学校は、多くの税金によって支えられていることを知りました。

普段は何気なく使っている教科書や机、さらには校舎の冷暖房設備まで、その多くが税金でまかなわれています。私はこの事実を知ったとき、あたりまえだと思っていた環境が、実は社会全体の支えによって成り立っているのだと気づきました。

特に私が驚いたのは、義務教育で使う教科書の費用が税金で負担されていることです。毎年新しい教科書をあたりますように受け取っていましたが、それをも自分で購入しなければならぬというなら、家計に大きな負担になるはずで、日本ではすべての子供が平等に教育を受けられる仕組みになっていることに改めて感謝しました。

また、給食費の一部にも税金が使われていると知りました。毎日温かいご飯を食べられるのは当然のことではなく、誰かがその環境を支えてくれているのだと思うと、給食を大切に食べて感謝できるような人になりたいと思いました。

こうして考えると、学校生活のほとんどが税金によって支えられているのだと分かりました。私は税金について勉強するまで、正直そこまで深く考えたことはありませんでした。しかし、知れば知るほど、税金がなければ今のような生活

は成り立たないということに気づき、税金はみんなで出し合ってみんなのために使うお金だと実感しました。

もちろん、税金は学校だけでなく、病院や道路、消防や警察など、社会のあらゆる場面で活用されています。社会の安全や安心があるのが税金のおかげだと思うと、納税という行為はとても重要で責任あるものだと感じました。

もし税金がなかったら、救急車は無料でも来ず、通えなくなり、体調を崩しても治療を受けられない人が出てしまうでしょう。火事が起きてても消防車が来なかったり、地域を守る警察に通報しても通報料として多額の費用を払わなければならないなら、私たちは安全に安心して暮らせません。税金は命と安全を守る仕組だと感じました。

私は今、税金の恩恵を受ける立場です。ですが、いつかは働いて納税する立場になります。その時には、ただ義務だから払うのではなく、今まで税金によって受けてきた恩恵を心に持ち、誰かの学びや安心につながるお金という思いを持って納税したいと思います。税金は未来を変える大切なものです。私はこれからも、学校や地域で税金がどのように使われているのかに着目しながら、感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。